



送付枚数：6枚

～歴史×古代米×生き物を学ぶ～

## 多賀城南門のふもとで市内全小学校5年生全員 が宇宙から帰還した古代米の田植えを実施！

令和7年5月23日

724年に創建され陸奥国府が置かれるなど、古代東北の政治・文化の拠点となった多賀城は、昨年創建1300年を迎えました。

これを契機に、昨年に引き続き、今年も本市の特産品である古代米の学習プログラムとして、市内の全小学校の5年生約580名が集い、合同で古代米の田植えを行います！今回の古代米は、全て2021年に宇宙に旅立ち帰還した宇宙米の子孫たちです。

この取り組みでは、本市の特産品である古代米の稲作体験を通して、多賀城の歴史や食文化を知り、また、「食べ物」が「植物・生物・命」とつながっていることを同時に学びます。単に「田植えをする」体験ではなく、古代米生産者や地元の事業者など多くの方々の想いや意味を込めた、次の世代へ「つなぐ・つなげる」事業となっています。

事業の告知、取材方につきまして、特段のご配慮をよろしく申し上げます。

### 記

- 1 日時 令和7年5月28日（水）9時45分から  
※雨天などの場合は、中止です
- 2 場所 多賀城市市川字館前（別紙を参照してください）
- 3 各学校の配置図（別紙を参照してしてください）
- 4 撮影について

山王小学校の児童については撮影を控えてください。

※撮影場所については当日説明しますので、必ずスタッフにお声かけください。

#### 《問い合わせ》

学校教育の取り組みについて 教育委員会事務局教育総務課

☎022-368-5021

歴史関係について 教育委員会事務局文化財課

☎022-368-5094

多賀城古代米田んぼプロジェクト2025について 企画経営部市民文化創造課

☎022-368-2085

# 古代米田植え体験学習会場 位置図



[場面②] 入場 [場面③]前説時配置



【場面②入場】

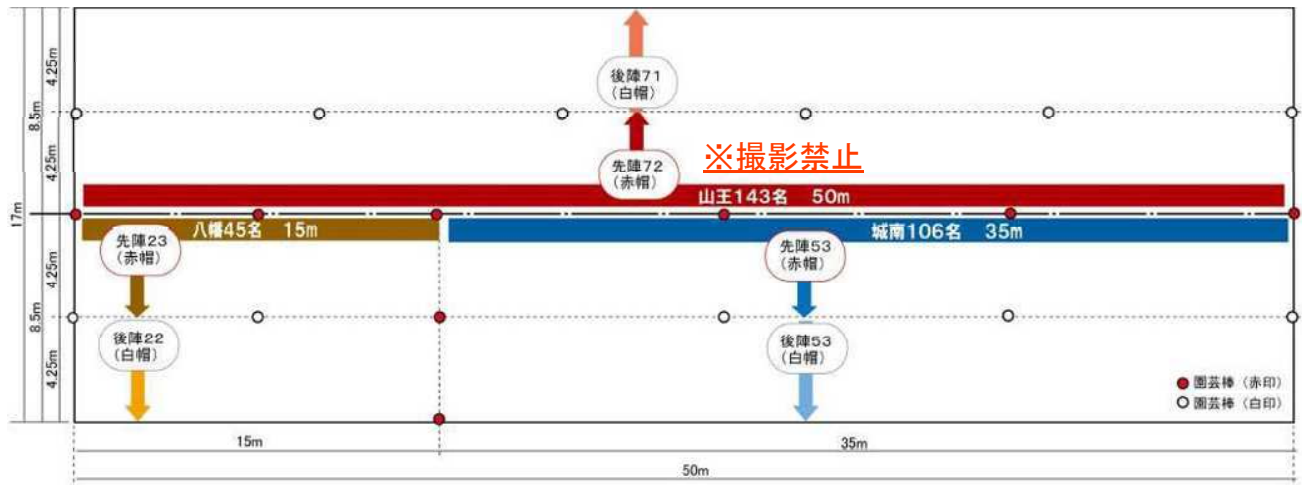
- ①ブルーシートに荷物を置き、長靴へ履き替える  
※素足も可

【場面③前説】

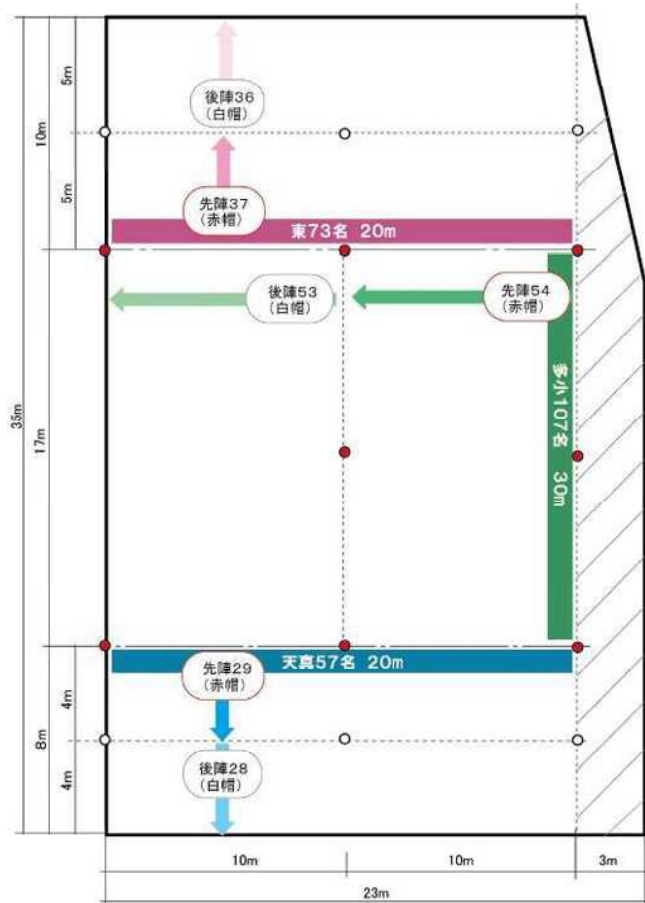
- ①各学校の範囲へ整列し、腰を下ろす
- ②司会の号令で開始
- ③市長挨拶
- ④教育長挨拶
- ⑤加藤さんの田植え説明

## [場面④]田植え体験

### A田



### C田



#### 【準備】

- ・苗箱は、あらかじめ、ゾーン内へ運んでおく。
- ・園芸棒位置を把握しておく。
- ・同ゾーンのスタッフの名前を把握しておく。

#### 【田植え手順】

- ①先陣(赤帽)は田んぼへ入り、均等に並び片手で持てる苗量を持つ。
- ②後陣(白帽)は、苗渡し係。
- ③号令で一斉に開始。
- ④先陣が半分まで終わったら、後陣と交代。

※学校エリアでの配置、先陣・後陣交代は、スタッフと先生とで判断し行う。  
(タイムテーブル目安は放送する)

#### 【今回植える米】

古代米＞黒米  
品種:おくのむらさき(うるち米)  
※全て宇宙米

[場面⑤]足洗い



【足洗い手順】

- ①田植えが終わったらところから水路で足を洗う  
※状況にあわせた水路への誘導なるべく広がる
- ②長靴の泥を落したら荷物置・水バケツ場まで誘導
- ③水バケツのひしゃくで手を洗ってあげる
- ④長靴の履き替えが終わったら、後説の配置(⑥)へ誘導

[場面⑥]後説時配置

※撮影禁止



【後説手順】

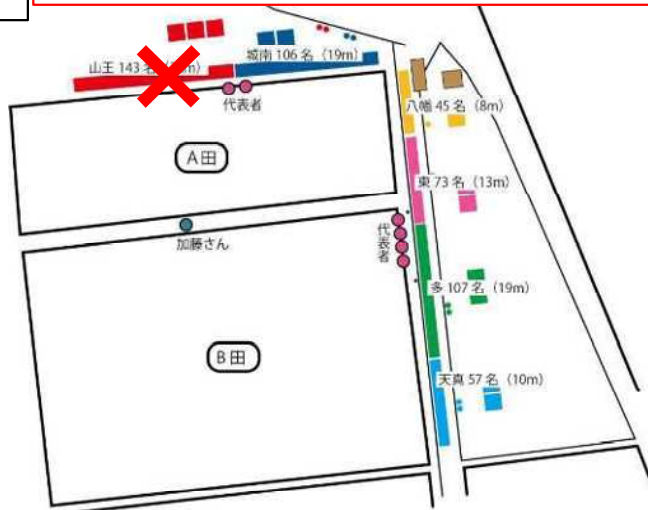
- ①加藤さんから締め挨拶  
(全員腰を下ろす)
  
- ②各校1名の代表者が前に出て挨拶  
(全員起立)

# メディア向け／撮影不可エリア

山王小の生徒が映らないように撮影をお願いいたします。

## 前説・後説時

※映り込まないように撮影方向にもご注意ください。



## 田植え時

※映り込まないように撮影方向にもご注意ください。

